



NEWS RELEASE

2012年2月10日
東ソー株式会社

化学合成法マンガ산화物の製造設備を新設

～EV車などのリチウムイオン二次電池正極材原料に適した
マンガ산화物の製造技術を新規開発～

東ソーはこの度、化学合成法マンガ산화物（Chemical Manganese Oxide）の製造技術を新規に開発し、グループ会社の東ソー日向（宮崎県日向市）に化学合成法マンガ산화物製造設備の新設を両社で決定しました。年産5千トンとなる製造設備の建設を本年4月に着工、2013年3月の完工を予定しております。投資金額は約30～40億円で、本件は経済産業省の国内立地推進事業費補助金の交付先として採択が決定しております。東ソーグループのマンガ산화物生産能力は、これにより年産6万4千トンとなります。今後のマンガ산화物需要の拡大に応じて、次期生産能力の増強を検討しており、世界トップメーカーとしてこれまで同様その地位を維持していきます。

これまで東ソー日向、トーソー・ヘラス（ギリシャ）にて製造を行ってきた電解二酸化マンガ（EMD）は、ハイエンドのアルカリ乾電池の正極材原料として主に使用されてきましたが、マンガ산화物は昨今の電気自動車（EV車）の上市やその生産台数の増加に伴い、マンガ酸化リチウム（LMO）系および3元系のEV車用リチウムイオン二次電池の正極材原料として、今後も需要が益々拡大する見込みです。

この度、東ソーにて開発した化学合成法マンガ산화物の製造技術は、安全性と高出力が要求されるEV車用リチウムイオン二次電池などの正極材原料に適し、従来のEMDの製造に用いた電解槽や粉砕機を必要とせず、化学合成法によってマンガ산화物粒子そのものの合成や粒子径の制御ができることから、EMDに比べ高純度で均一した粒子径が得られ、不純物の混入が極めて少ないマンガ산화物の製造が可能です。

東ソーはこの製造技術の使用をグループ会社の東ソー日向に許諾し、同社にて化学合成法マンガ산화物を製造、東ソーの高機能材料事業製品として、既存のEMDと併売し、正極材メーカーに販売を行っていく予定です。

東ソーの高機能材料事業はEMD・化学合成法マンガ산화物のほかに、ジルコニア、合成ゼオライト、石英ガラス、スパッタリングターゲットを有しており、今後も更なる事業規模の拡大と収益力の強化を図っていきます。

【東ソー日向株式会社 会社概要】

設立 1995年7月
資本金 15億円
出資率 東ソー100%

以上

東ソー株式会社 広報室

東京都港区芝3-8-2 〒105-8623
TEL 03(5427)5103 FAX 03(5427)5195
<http://www.tosoh.co.jp>